



大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 60 号
2018 年 2 月 27 日発行

<各地区からの便利>

①天城郷町事務職員会

天城町立岡前小学校 福元 幸四郎

みなさんこんにちは、天城町事務職員会です。

徳之島では北部になりますが、空港の近くという利便性もあり、また、黒うさぎのいる（お目にはかかってはいませんが）天城岳など自然も豊かな所です。ただ、冬の北風は結構強いです。

本町のメンバーは、小学校 3 校、中学校 2 校、小中併設校 1 校の 6 名の事務職員で構成されています。支援室の方では、分校も 2 校抱えていますので、事例に対する早めの対応を心がけています。

①事務支援室について

経験の浅いメンバーも含めて、年度当初はお互いにきちんとチェックして認定作業を進めています。私自身も経験年数はあるのですが、さすがに自分の学校だけで単身赴任を 4 件扱うなど、徳之島に来る以前は考えられなかった状況で、十分情報交換をさせてもらいました。

旅費や実績の点検も、相互監査を含めて対応しています。夏季休業中の出張の事例や前回の地区事務職員会の台風に伴う延泊の旅費請求の仕方など、お互いが疑問に思ったことを支援室で解決出来るようにしています。

相互監査でも限られた時間の範囲内ですので、すべてに手が届いていない状況ですが、単純ミスを防ぐ意味からも、大事な時間だととらえています。

②町事務職員研修会について

本町の場合、支援室がそのまま町事務職員研修会のメンバーですし、なかなか年 2 回の研修会ではテーマ設定や財務関係など中身が深まらない状況です。財務規則の制定等課題はあるので、今後支援室の延長から脱皮したいところです。管外研修視察もここ数年実施していない状況ですので、県内の学校現場を知るといって機会を新年度は計画したいと考えています。

これとってアピールする点もないですが、何でも相談しやすい雰囲気を大切に、和気あいあいやっています。



(天城町役場)

②知名町事務職員会

知名町立田皆中学校 下酔尾 怜

みなさんこんにちは。知名町事務職員会です。

知名町は小学校 5 校、中学校 2 校があり、支援室と事務職員研修会が同じ構成員となっています。構成メンバーは 7 名で新規採用者 4 名、再配置事務職員 1 名と経験年数の浅い事務職員が 5 名配置されています。

支援室は基本的に月 3 回午前 9 時から 12 時まで拠点校の知名小で、諸手当認定及び県費点検業務を主に行い、町費事務の共通理解や支援室だよりの発行などの業務も行っています。

研修会は年 6 回計画されていて、そのうち 3 回が町単独の研修会、残り 3 回が同島にある和泊町との合同研修会となっています。加えて毎年管外研修視察が計画されています。今年のテーマは「効率的な事務引継書の作成」と設定し、2～3 年かけて完成できるように取り組んでいるところです。これからもお互い協力して研修し自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

ところで、沖永良部には天皇皇后両陛下が、平成 29 年 11 月 16 日に御来島され、島全体でお出迎えし大いに盛り上がり、このタイミングで知名町に勤務することができていて良かったなと思いました。

今後とも知名町事務職員会をよろしくお願ひします。



(支援室は支援室用の事務机、パソコンが配置してあり空調設備も備わっています。)

③瀬戸内町支援室

瀬戸内町立諸鈍小学校 加治 大志

こんにちは。瀬戸内町事務支援室です。平成 29 年度は 3 名転出、3 名転入で昨年度と同じく 8 名でのスタートになりました。構成は専門員 3 名、事務職員 3 名(うち 1 校目 3 名)、期限付職員 2 名となっています。また小学校 12 校、中学校 7 校の計 19 校あるため、8 名中 6 名が兼務校を抱えており、4 校兼務 2 名、3 校兼務 1 名、2 校兼務 3 名という状況です。また大島海峡を隔てて、有人の島が加計呂麻島、請島、与路島とあるため、4 名が船で移動を行います。



主な活動内容として、「瀬戸内町立小・中学校事務職員研修会」と「瀬戸内町立小中学校事務支援会」があります。そのほか、合同自主検査を年4回、隔年で管外研修を計画しています。

研修会では当番が、旅費・給与・福利厚生などの事例研修の資料を準備しより実践的な研修会を目指しています。また支援会では手当認定の相互審査や認定事務に関しての意見交換をなっています。

本町は平成25年11月1日付で兼務辞令が発令され、共同実施がスタートしました。離島の離島を抱えている地理的条件があるため、支援室は1室であり18校分の兼務辞令となっています。

今年度は請島の池地小学校が休校から開校し、船を利用して兼務校勤務をする職員も出ました。船での兼務校勤務は大変という声も上がっていますが、支援室全体でサポートをしています。

請島では5月頃に、「請島ウォークラリー」という請島の魅力を感じることができるイベントがあります。久々の開校記念に一度足を運び、請島の魅力を楽しんでみてください。

特殊な地理環境の瀬戸内町ですが、8名で協力してこれからも支援室を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

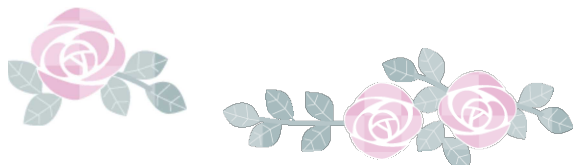
<新規採用者の声>

天城町立兼久小学校 稲森 美勇士

本年度、新規採用事務職員として天城町立兼久小学校に赴任して参りました、稲森美勇士と申します。赴任当初は仕事の右も左もわからないまま年度初めの大量の書類や業務に追われ、大きな不安に襲われましたが、そんなときにいつも助けてくださったのは支援室の先生方でした。何度も学校に駆けつけてくださり、毎日のように電話をかけても、いつでも優しく丁寧に教えていただきました。毎日感謝の気持ちでいっぱいです。

もうすぐ、あれから1年が経ちます。不安だった毎日も、今では少しだけ気持ちに余裕を持って仕事に取り組んでいるような気がします。それも支援室の先生方や学校の先生方の支えがあったからです。同期の存在もまた、大きな支えになっています。

いろいろなことを勉強、たくさん失敗し、経験させていただいた1年でした。学校事務職員としても社会人としてもまだまだ力不足ですが、2年目以降は少しでも成長した姿をいつも支えてくださっている方々に見せることが出来るよう、初心と感謝の気持ちを忘れず、これからも精進していきたいと思っております。



この度新規採用で薩川小学校に着任しました、元田悠と申します。今年度から初めて学校事務職員という仕事につきました。4月初旬は右も左もわからない状況でした。しかし、事務支援室の先生方のアドバイス、また学校職員の皆様の助けもあって、大変ながらも充実した日々を過ごしています。

教育の事務の仕事に関しては、インターネットで得た情報で少しは知っていたつもりでした。しかし実際の仕事は私が考えていた以上に多種多様で忙しく、今でも慌ただしい毎日です。赴任当初は、内容をよく把握できていないデータや書類の処理をする日々を送っていましたが、今では少しずつ慣れてきています。しかし今でもわからない書類が出てくることが多く、処理を終えた仕事の反省や、先輩の先生方へ質問を繰り返してばかりです。

今年度も終わりに近づき、忙しい時期が近づいていますが、最後の最後まで気を抜かず無事今年度を終えたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



<第3回理事会の報告>

2月16日(金)に平成29年度第3回理事会が開催されました。

今年度の活動経過報告、本年度会計決算見込報告、第3回県事協評議員会報告、今後の活動計画、来年度役員体制について、及び来年度予算概案について等協議をしました。

第2回地区事務研の日の午後からの大事協の時間を来年度以降どうするか検討するのが今年度の課題でした。10月に会長より提案のあったとおり、2地区ごとの事例発表となります。発表の順番は今までどおり北から南へ、来年度は奄美市笠利ブロック・龍郷町が発表担当です。分科会方式で情報交換を行っていただけらと思います。

新年度を迎えるにあたって、理事が変わる市町村につきましては、旧理事と新理事で次年度への引継ぎをきちんとしておいてください。



* 今回、宇検村が原稿集約・編集をしてくださりました。また、天城町・知名町・瀬戸内町から原稿をいただきました。ありがとうございました。

* 第61号は、編集担当が奄美市東部ブロック、原稿提出が喜界町・与論町となっています。準備をお願いします。他の市町村の方々も、来年度も大事協だよりの作成にご協力お願いいたします。

* 春の日差しが心地よい季節、さらなるご活躍をお祈りいたします。

